

日本の祝い魚で世界を笑顔に

20年に一度の神宮式年遷宮をきっかけとして、全国からこの地域への注目が集まっています。市では、鳥羽ならではの魅力ある観光資源を生かした周遊・滞在型の観光地づくりを目指し、観光関係団体や地域みなさんと連携しながら、「HOSUプロジェクト」をはじめとしたさまざまな事業に取り組んでいます。

今回は、いくつかの主な観光振興の取り組みについてご紹介します。

観光課観光振興係 ☎ 25 1157



HOSUプロジェクト

2000年の歴史ある^{のしあわび}熨斗鯨に起源を持つ鳥羽の「干す文化」や地域に息づく伝統的な「海女文化」、そして伊勢えび・アワビ・鯛といった、祝いの要素を持つ「日本の祝い魚」をはじめとした鳥羽の「食」。これらの魅力をさらに磨き、話題性やインパクトのある情報発信、受け皿強化などによる観光誘客や、魚食の消費・利用拡大を進める一連の取り組みを「HOSUプロジェクト」として推進しています。

HOSUプロジェクト
圧巻の風景
伊勢えび千匹干し



10月8日、菅島しろんご浜において「伊勢えび千匹干し」を実施しました。菅島町内会、旅館組合をはじめとした島民のみなさんの協力のもと、「日本の祝い魚」の一つである伊勢えび1,000匹を並べ干す圧巻の風景を作り出しました。

「伊勢えびの干物」は鳥羽の新しい「食」の魅力として、商品化に向けた取り組みが進められています。

HOSUプロジェクト
新幹線1両をジャック
鳥羽のあまちゃん100人、東京へ



鉄道の日である10月14日に、鳥羽から女性100人が海女着姿のまま近鉄、新幹線、東京メトロを乗り継ぎ、首都圏において鳥羽のPR活動を行いました。

海女着姿のまま移動すること自体をPRの手段として、この話題性によって首都圏をはじめ全国における鳥羽の認知度向上、「海女文化」の魅力発信に取り組みました。



HOSUプロジェクト
遷宮奉祝 海と愛に育まれた鳥羽の祝祭
〜鳥羽のあまちゃん100人上京！食と祝の祭典〜

10月14日、東京・六本木ヒルズアリーナにおいて「遷宮奉祝 海と愛に育まれた鳥羽の祝祭〜鳥羽のあまちゃん100人上京！食と祝の祭典〜」を開催しました。

イベント会場では、「海女」、「HOSU/干す」、「真珠」をテーマとして、鳥羽から上京した海女着姿100人による鳥羽や海女文化のPR、伊勢えびの干物など日本の祝い魚を中心とした「食」のふるまい、大和田獏さん・岡江久美子さんご夫妻にも参加していただいた結婚30周年を祝う真珠婚式の開催などを行いました。

イベントには、林農林水産大臣をはじめタレントの足立梨花さんなどにもご出席いただき、日本の情報発信拠点である東京六本木ヒルズから全国へ鳥羽の魅力をPRすることができました。



伊勢えび
おいしいよっ!!

海女100人が一斉に
アワビ採り「御潜神事」再現

6月29日には、国崎町の老の浜において、伊勢神宮と深いつながりのある「御潜神事」の再現を行いました。「御潜神事」は、伊勢神宮へお供えする熨斗鯨を作るためのアワビを近隣の海女が集い一斉に採取する神事です。明治4年の御贄献進制度の廃止に伴い盛大な神事は絶え、断続的な開催となっていましたが、ユネスコの無形文化遺産登録を目指す「海女文化」や伝統的な「干す文化」を情報発信するため開催しました。



2020年
「東京オリンピック」×「日本の祝い魚」で世界を笑顔に



多くの人に伝えたい
文化があります。



■「日本の祝い魚」

「伊勢えび」は、長い髭と腰の曲がった姿から長寿を祝う縁起物とされています。

「鯛」は「めでたい」の語呂合わせもあり、祝いの席には欠かせません。

「アワビ」は伊勢神宮の神事に用いられる神饌です。

これら「祝い」の要素を持つ鳥羽の海の幸3種を「日本の祝い魚」と称しています。



HOSUプロジェクトでは、今後も『「日本の祝い魚」で世界を笑顔に』をスローガンに、2020年の東京オリンピックを見据え、インパクトと話題性のある取り組みや、地域内へのインナープロモーションに取り組み、「鳥羽で人生を祝う旅」の構築、そして鳥羽から日本へ、日本から世界へと『日本の祝い魚』による笑顔の輪を広げる事業を展開していきます。

ほかにも、さまざまな観光振興の取り組みを行っています。

神島に2,000人、
吉永小百合さん49年ぶりの来訪

6月2日、小説「潮騒」の舞台である神島において「潮騒の集い」を開催し、映画「潮騒」第2作で主演された女優の吉永小百合さんに49年ぶりに神島へお越しいただきました。

これは地域のみなさんの熱心で率直な想いが伝わり実現したもので、太鼓奏者の林英哲さんを迎えた歓迎セレモニーや吉永小百合さんとの交流会などを催し、約2,000人が神島に集う夢のような1日となりました。

平成26年は、「潮騒」が誕生し60周年を迎えることから、関係団体と連携しながら記念事業などを計画していきます。



吉永小百合さん
おかえりなさい!



たくさんのキレイな花が
迎えてくれます。



鳥羽の玄関口を飾る「花」のおもてなし

鳥羽観光の玄関口である鳥羽駅周辺において、「花」を生かした歓迎空間の整備を行いました。鳥羽駅の近鉄およびJR側のそれぞれの出口広場周辺を中心にプランターを配置し、色とりどりの花を植えるなど、一年を通して鳥羽の玄関口にふさわしい歓迎空間づくりに取り組んでいます。



あなたの知らない鳥羽を味わう「ぐるとば」

市内宿泊事業者のみなさんと共に「宿と地域が一体となってつくる周遊・滞在型の観光地」を目指し、「食」を切り口とした体験メニューの開発・提供に取り組んでいます。

海女さんとの交流や、島の料理体験など、趣向を凝らした体験が各地域で実施されています。

くわしくは、「ぐるとばホームページ」をご覧ください。

<http://www.city.toba.mie.jp/kanko/gurutoba/>

4島をつなぐ「島むすび」と「島遺産」

鳥羽の4離島が連携する「島むすびプロジェクト」では、取り組みの第1弾として、それぞれの島の食材を使ったおむすび「島むすび」を開発しました。

昨年11月には、東京都池袋で開催された全国の離島の祭典「アイランダー2013」に出展し、「島むすび」を通じて鳥羽の離島の情報発信を行いました。

また、現在は島遺産100選のガイドブックの制作を進め、鳥羽の離島の魅力発信に取り組んでいます。



とってもおいしい島むすびは
いかがですか。



鳥羽市観光キャンペーンガール 「三世代海女」大ブレイク

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」人気をきっかけとした「海女ブーム」も後押しし、鳥羽市観光キャンペーンガールである三世代海女・中川さん母娘による観光PRが全国から注目されています。全国放送のテレビ番組や雑誌などへ登場する機会も増え、海女文化の継承や鳥羽の観光PRの一翼を担っていただいています。

鳥羽には、魅力的な
スポットがたくさん！



今後も流行を的確に把握しながら、「HOSUプロジェクト」をはじめとしたさまざまな事業を展開し、神宮式年遷宮後も継続して多くの観光客が訪れる観光地づくりを目指していきます。

